

前参议院議員

山田太郎の プロフィール

(全国比例公認候補者)



学歴

- 麻布高等学校卒
- 慶應義塾大学経済学部経済学科卒
- 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻
博士後期課程単位取得満期退学

政治歴

- 参議院予算委員会、決算委員会、内閣委員会オブザーバー理事など
- 自由民主党参議院比例区第50支部長

職歴

- ネクステック社(製造業専門コンサルティング会社)創業社長
(2005年東京証券取引所マザーズ上場)
- アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)
- プライスウォーターハウスクンサルタント(現日本IBM)
- PTC(米国ナスダック市場上場企業)米国本社副社長など

教育歴

- 東京工業大学大学院社会理工学研究科 特任教授
- 早稲田大学大学院商学系研究科 客員准教授
- 東京大学大学院工学系研究科 非常勤講師
- 早稲田大学理工学部 非常勤講師など15年間ゼミや講義を担当

著作

- 「表現の自由の守り方」「ネットには神様がいる」
- 「インダストリー4.0の教科書」「PLM戦略」
- 「次世代プロフェッショナルの働き方」「日本製造業の次世代戦略」など
12作の著作あり

比例代表選挙は

「山田太郎」と ご記入ください

※比例代表の用紙は**2枚目**
(白地に赤字の投票用紙)

比例代表

名称記入欄
山田太郎

第25回 参議院
比例代表選出議員選挙投票

※党名を書いても山田太郎の票にはなりません
※全国どなたでも投票できます

マンガやアニメ、ゲームを守れ!! 山田太郎の 「表現の自由を守る」闘い



漫画家の竹宮恵子さんと

漫画家の赤松健さんと



漫画家のちばてつやさんと

映画監督の庵野秀明さんと

著作権非報告罪化 児ボ法 青健法 など
 有書図書指定 国連勧告 ダウンロード違法化 など
 余談を許さない表現の自由についての諸問題!!
 国政でもまだまだ表現の自由を守るための活動が必要!!

うちのせんきょわ



《選挙事務所》〒101-0021 東京都千代田区外神田3丁目1-13 倉田ビル1F
☎03-4405-1761 ✉info@taroyamada.jp

《アクセス》各線「秋葉原駅」徒歩5分
ベルサール秋葉原から神田明神方向に二軒隣

マンガ
アニメ
ラノベ
フィギア

ゲーム
コスプレ
同人誌

表現の自由を守ろう

表現の自由を守る闘いは

1度たりとも

負ける訳にはいかない!!

山田太郎



前参議院議員 **山田太郎**

比例代表は
全国どなたでも投票できます
(全国比例)

LINE@登録 お願いします!



このビラを見たら写真を撮ってツイートしてね!



前参議院議員就任前の山田太郎

経営者時代 会社創設・東証マザーズ上場



社長室にて

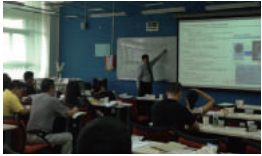


創業社長として会社を上場

当時は一般に知られていなかったPLMという概念を日本に持ち込み、製造業のコンサルティング会社をマザーズに上場させました。設計製造ソリューション展での山田節は展示会の毎回の名物となりました

教育者時代 東大、東工大、早大で

東京大学工学部3年生に「アントレプレナー論」の選択必須のゼミを14年間担当。早稲田大学MBAスクール・客員准教授、東京工業大学院社会理工科・特任教授、その他複数大学で「技術経営論」の授業を担当。これまで教えた生徒は2000人以上。



授業風景



学生諸君と同窓会にて朝まで飲み会

学生時代～ 地球3周、世界50カ国



表現の自由を巡る山田太郎の戦い！ 山田太郎を応援してください



私は2010年の参院選に立候補したときから、表現の自由を守ることに、重要な公約として掲げてきました。国会質問の機会や質問主意書などを駆使し、そして、皆さんからの後押しの声もあり、政府や与党を動かし、何度も危機を乗り越えることができました。表現の自由を守る闘いはまだまだ続きます。憲法21条の表現の自由を守り、著作権法では文化促進の観点からも権利者を守りながらパロディを合法化を目指します。アニメーターの待遇改善も行わなければなりません。これからも頑張っていきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。



児童ポルノ禁止法では、当初マンガやアニメゲームについての規制がなされようとしていました。山田太郎はこの付則について、国会内や世論に働きかけ付則を外すことに成功するのと共に、実在の児童を守るという法の趣旨を踏まえて運用する旨の附帯決議をつけました。

警察の行きすぎた 捜査に歯止め

CG児童ポルノ事件、児童ポルノ法の単純所持、児童ポルノとは関係のないフィギアの押収・公開など重要な事件の度に状況を警察に確認し、皆さんにお知らせ。以後、同様事件の歯止めになっています。民間の自主規制などについても申し入れなどを行っています。



**実在の児童を守るために
児童の養護に奔走**

表現規制といつてもセツトになっているのが、実際の青少年保護・虐待被害児童の保護です。ところが現在の行政は縦割りので6省庁が押し付け合いながら仕事をしている状態でした。菅官房長官に何度も粘り強く働きかけ、総合調整機能をもつ部署の設置にこぎ着けました。



国連からの マンガ・アニメ・ゲーム規制勧告 をはねのけた

国連特別報告者のブッキキオ氏の女子生徒13%援交発言にはいち早く外務省を動かしました。マンガ・アニメ・ゲーム規制についても、質問主意書や国会答弁などで、総理なども巻き込んで、日本として根拠のないものは受入れないという姿勢を明確に正しました。

山田太郎の主な実績

軽減税率を理由にした 有害図書指定を不可能に

軽減税率導入時に「有害図書」指定をしようという議論が上がった際、いち早くそれが憲法上・法律上極めて難しいことを指摘し、事実上実施できないよう道筋をつけました。これが通れば、今まで青少年向けに「不健全」であったものが、年齢によって「有害」とすると書籍が指定されることでした。



TPPの非親告罪化から コミケ、二次創作、同人誌を守る

当初、TPPの著作権非親告罪化によるコミケへの影響は深く議論されていませんでした。非親告罪化の同人誌即売会への影響などを国会内外で訴え、最終的に法律として提出されるまで、MANGA議連や国会質疑の場を活用しながら、非親告罪は海賊版のみに限定することに成功しました。

通信の秘密とインターネットは 基本的人権と訴える

憲法21条が定める通信の秘密にメールが含まれることを日本で戦後初めて確認しました。その他にも日本でのネット検閲を内閣府の検討段階で問題を指摘し、警察が第三者に命令し、携帯電話のロック解除をさせられないことを国会で明確にしました。

Twitterや毎週の「さんちゃんねる」・夏冬のコミケ演説での情報発信や皆さんとの意見交換を積極的に行ってきた。青健法についての情報提供や見求法の質疑には皆さんの意見が大量参考になりました。



放送350回以上!

毎週水曜日22:00~放送中
「山田太郎のさんちゃんねる」
<http://taroyamada.jp/yt>



皆さんとのネットを駆使した
双方向の意見交換